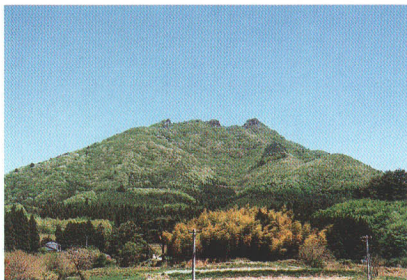


町の概要



【鎌倉岳】



ここは、阿武隈の深い懐に抱かれた自然あふれる美しい町です。



常葉町は福島県の中東部、宮城県南部から茨城県北部まで南北に続く阿武隈山地のほぼ中央に位置した高原の町です。岩峰豊かな鎌倉岳、阿武隈山地の最高峰・大滝根山、牧場の広がる殿上山などの山々に囲まれ、四季折々の豊かな自然は町の自慢でもあります。その名前の通り豊かな緑に恵まれたこの地では、約8千年も前から人々が生活を営み、歴史を築いてきました。その後、奥州百座の一つにも数えられるまで発展した常葉の里は、相馬街道の宿場町として、また三春藩の馬の産地としても栄えてきました。さらには近世において自由民権運動の先駆者河野広中氏を区長

とし、いち早く区民会を興すなど、自由民権運動発祥の地としても知られています。明治33年に町制が施行され、昭和30年には隣接する山根村と合併し新町「常葉町」が誕生しました。「カプトムシ自然王国」の独立宣言は昭和63年に行なわれ、「カプトムシのふるさと常葉」を目指した町ぐるみのイメージアップと産業おこしによって、現在では広く全国に知られるまでになりました。自然と歴史に育まれたこの地で、その地の恵みを活かした町づくりを進めている常葉町。人々の温かなぬくもりが、これからも明るい未来を拓いていきます。



【環境を活かした施設づくり】
自然の地形や豊かな緑、そして史跡などを活かしながら人々が集える施設を設置するなど、自然環境との共生を考えた町づくりを進めています。

●位置●

東経140度38.49分、北緯37度26.05分
南北15.2km、東西12.7kmで、総面積は 84.41km²
阿武隈山系に包まれた標高430mの山間地帯で、周囲は田村郡都路村、船引町、大越町、双葉郡川内村に隣接しています。

